

【 第7回 女子ユースアジア選手権 】

2017年8月18日 ~29日

開催国 : インドネシア ・ 都市 : ジャカルタ

試合結果報告 8 月 28 日 (月)

JAPAN	VS	KOR(韓国)
7	前半	17
13	後半	17
	第一延長	
	第二延長	
20	合計	34

個人得点

No.	名 前	前半	後半	合 計
1	千葉 夏希			0
2	橋口 和佳奈			0
3	高木 奈央	1		1
4	阿礼 梨那			0
5	阿部 美幸		3	3
6	伊藤 愛莉		4	4
7	服部 沙也加			0
9	安田 つぐみ			0
10	岡田 彩愛	1	4	5
11	山路 麻愛		1	1
12	下地 真央			0
13	守屋 葵			0
14	関 洋香	-	-	-
15	谷藤 悠			0
16	柿添 まどか	-	-	-
17	佐藤 優花	2	1	3
18	江本 ひかる	2		2
19	宇治村 唯	1		1
	合計	7	13	20

戦評

第6戦、最終戦は韓国との対戦。
 ゲーム序盤、お互い点は取るがミスが多い展開。すかさず9分36秒、3-5と日本2点ビハインドで、韓国がタイムアウト。直後、日本は岡田の1対1で1点差に詰め寄るものの、すぐにクイックスタートで点を取られてしまう。守屋・橋口を中心としたDFで守っても、速攻時のパスミスから相手に点を与えてしまう苦しい展開。それでも佐藤・江本が積極的に攻撃し、前半を7-17とする。
 とにかくこれまでやってきたDFをやりきろう、とハーフタイムに確認し臨んだ後半、DFは守りきれぬ場面も出てくる。しかし焦りからか、速攻がうまくつながらぬ。OFでは、伊藤を中心とした攻撃でノーマークのシュートチャンスを作るものの、相手GKに阻まれてしまう。韓国が着実に得点を重ねるなか、日本は岡田のカットイン、伊藤のミドル、阿部の1対1などで応戦する。しかし前半の点差を詰めるまでには至らず、20-34でタイムアップ。
 日本は第2位となり、次年度行われる女子ユース世界選手権の出場権を獲得した。
 様々なことを学べたこの6戦。不足しているところはきちんと受け止め、今後の成長の糧にしていきたい。また今大会、関と柿添は試合には出られなかったが、チームのためによく貢献してくれた。

報告記入者 :

安藤 希沙